# 議会だより

No. 306
議会広報委員会

## 臨時会

平成28年第6回臨時会は10月20日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

**原案可決**

**○財産の取得について**
除雪ドーザ車　1台

**○平成28年度北竜町一般会計補正予算(第4号)について**
・既定予算額に19，200千円を追加し、総額3，594，281千円とする。

## 行政視察

### ■道外政務調査報告【長野県小布施町】

小布施町は人口一万七百人、総面積十九㎢（北竜町は百五十八㎢）、県庁がある長野市に隣接した栗・リンゴなどの果樹を中心とした農業の町である。

懇談は役場内で行われ、小布施町議会大島議長他議員二名、議会事務局一名の四名に対応して頂き、町づくりの一環として町民を主体とした「協働」を掲げ、景観の管理・保全や行事展開を行っている事など、取り組み内容の説明をして頂いた。また町議会は、議員定数十四名で4つの委員会が設置されており、中でも町民からの意見・要望等を町政に反映させる「政策立案常任委員会」に対しての質疑が多くなされ、有意義な意見交換が行われた。

（広報特別委員会　北島）

### ■道外政務調査報告【長野県松代町】

NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会を訪れ、「住民主体のまちづくりと地域づくりについて」学んできた。信州松代は文化遺産が五㎢の地域に詰まっている場所で、真田信之が初代藩主となって以来、真田十万石の城下町として伝統文化が色濃く残る街だが、文化遺産を生かすことが出来ないでいた。平成五年に高速道長野インターが松代に開通して以来、地域住民が立ち上がり、行政の後押しも得ながら、観光のまち松代の遺産を一つ一つ掘り起こし、光を当てて全国に発信している。この法人は平成十三年に百名の人々のボラティア活動で立ち上げられ、現在会員は一・五倍に増えており、観光案内やガイド本、歴史本などを出版している。近年は博物館などの指定管理も受託し、多くの意見を聞いて計画・実行・確認・行動（ＰＤＣＡサイクル）により事業展開をしている。また、同様なＮＰＯ法人と連携・協力して頑張っている。何度も説明の中で、まちの人々が団結して、地域の為に動いている事が凄いと言う。

松代地区人口一万八千人、長野市全体で三十八万人。合併の時、松代の遺産を生かされるかと思ったが、期待が外れ、自分達が先頭に立って行うしかないと考えた。今後、観光客を現在の五十万人から百万人に増やしたいと目標を述べられていた。

（広報特別委員会　藤井）

# 議員コラム

早いもので、今年も残り少なくなった。今は中小企業が従業員を雇用確保するのが困難な時代である。人口減少・少子高齢化・都市集中化などの為だ。高校・大学新卒者の子供たちは就職が決まっただろうか。

アベノミクス効果で経済が向上してきていると聞くが、地方ではまだその効果が浸透してきていないのが現状で、特に生活が良くなったようなことも聞かれない。

北空知の建設業に関しては過去五年間において、主だった建設会社、十八社において一社しか雇用していないようだ。どの職種でも同じかと思うが新卒者を育てて、一人前にするのに五年から十年程かかる。ほとんどの企業に余裕がない。建設業では近年、有資格者の十年以上の技術者が高い評価を受ける部分があり、会社のランクに影響する為、高年齢の技術者が増えた。最近になって若年者の雇用が取り上げられ、また、ランクに影響する要因になった。しかし、工業高校の学生が激減しており、今となっては遅い動きだと感じる。

介護の業界も地方の民間企業は雇用が大変だ。九月の議会で北竜町出身者の介護福祉士取得につながる学校に行く為の修学資金貸付条例について議決された。多くの若者が将来、戻ってくることを望みたい。ただ、魅力ある職場、魅力ある職業、そして、魅力あるまちづくりをしなければならない。まちの灯りが消えないように。

（藤井　雅仁）